

提議シ其ノ理由トシテ勞働者ハ早晚生産上ノ
支配權ヲ獲得スハシ其ノ準備トシテ勞働者ニ
ヨリ擬獨命ヲ組織シ之ヲ訓練シ置クノ必要アリ
リ其ノ詳細ニ付テハ公言ニルヲ憚ル旨ヲ述ベ
是又多教ノ贊成者ヲ得タリ勞働團體ノ指導者
ヲ以テ任スル幹部員ニシテ既一然リ以テ一般
ノ狀態ヲ窺知スルニ足ルヘシ
然レハ數年間ニ涉ル勞働爭議其ノ他、勞働運
動ノ經過ニ從ハシ之ヲ著急進的ノ言動ハ現在及
將來共弊害多クシテ利無キヲ實驗シタリ一般
勞働者ハ逆轉シテ之ヲ嫌忌排斥シ現實ヲ基礎
トスル穩健ノ方法ニヨリ勞働運動ヲ進メノコ
トヲ主張スルノ大勢ヲ生セリ

友愛會ハ此ノ狀態ニ鑑ミテ正九章ノ初頭棚橋
小虎ノ名ヲ以テ勞働運動ハ現實ヲ基礎トシ組
合主義ニヨリ進ムヘキモノニシテ後ラニ理想
論ニ至リ論理ノ徹底ヲ夢想スル社會主義運動
ト混同スヘキモノニアラザル旨ヲ聲明セリ此
聲明ニハ固ヨリ社會主義者ノ反對アリ
會母ニ於テハ急進派ニ屬スル者ハ最高幹部ノ
態度ヲ批難シ之カ為メ中証ヲ生ズルニ至レル
ニ一般會員ハ之ヲ歡迎シ從テ急進カリシ會ノ基
礎ヲ挽回セントスルニ至レリ先從是友愛會ハ
在京十二團體ト提携シ勞働組合同盟會ヲ組織
シ居タルカ其ノ加盟團體タル正進會信友會等
ハ社會主義者等ト連絡アリ常ニ急進的主張ヲ